

デジタルもぐら 3055J 防災訓練・動作確認

本体操作で防災訓練・動作確認を行う

※いずれの場合も外部機器が動作しますのでご注意ください。

地震の揺れが到着するまでのわずかな時間を有効に活用し、少しでも被害を減らすためには、継続的な防災訓練を実施することが重要です。また、動作確認をすることで、デジタルもぐらと放送設備、その他外部機器(自動ドア・エレベーター)との連動確認を行うことが出来ます。

※以下 1~4 の中から、ご利用環境に適した方法で実施してください。

※操作の途中で警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

1. 緊急地震速報の防災訓練・動作確認

※地震警報を受信しない場合は実施できません。

- (1) 「**1**地震訓練ボタン」を長押しします。⇒「訓練 LED」が点滅します。
- (2) もう一度「**1**地震訓練ボタン」を押します。⇒ 制御信号を出力(接点 ON)し、緊急地震速報の訓練メッセージが出力されます。(「訓練 LED」:点灯 「地震速報 LED(赤)」:点滅 「周波数パネル」:本体スピーカー音量表示)
- (3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H1]で設定した緊急地震速報の音声(接点)出力時間が経過すると出力を停止し、待機状態に戻ります。

🔊 訓練メッセージ(内蔵音源) 「 訓練 訓練 ♪NHK チャイム音♪ これは緊急地震速報の訓練です 強い揺れに警戒してください 揺れが収まるまで安全を確保してください 」

2. EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認

※EWS(避難指示)、EWS(津波警報)を両方とも受信しない場合は実施できません。

- (1) 「**2**警報訓練ボタン」を長押しします。⇒「訓練 LED」が点滅します。
- (2) もう一度「**2**警報訓練ボタン」を押します。⇒ 制御信号を出力(接点 ON)し、EWS(緊急警報)の訓練メッセージが出力されます。(「訓練 LED」:点灯 「警報放送 LED(緑)」:点滅 「周波数パネル」:本体スピーカー音量表示)
- (3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H3]で設定した EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間*を経過すると出力を停止し、待機状態に戻ります。

* EWS(津波警報)を受信しない場合は、[詳細動作 H2]で設定した EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間

🔊 訓練メッセージ(内蔵音源) 「 訓練放送です ♪警報音♪ 緊急警報放送を受信しました 津波の危険があります 情報を確認し警戒してください 」

3. メロディ音声で動作確認

訓練メッセージではなく、メロディ音声で外部機器との連動確認を行うことができます。

- (1) 「**1**地震訓練ボタン」と「**3**モニタボタン」を同時に長押しします。⇒制御信号を出力(接点 ON)し、メロディ音声が出力されます。(「訓練 LED」「モニタ LED」:点滅 「周波数パネル」:本体スピーカー音量表示)
- (2) 「終了ボタン」を押すと待機状態に戻ります。

🔊 メロディ音声(内蔵音源) * 弊社オリジナルメロディ音

4. ラジオ放送で動作確認

警報音声をラジオ放送にする場合は、必ずラジオ試験を実施してライン出力音量を調整してください。

- (1) 「**2**警報訓練ボタン」と「**3**モニタボタン」を同時に長押しします。⇒制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。(「訓練 LED」:点灯 「モニタ LED」:点滅 「周波数パネル」:ライン出力音量表示)
- (2) 「△選局/▽音量ボタン」で、ラジオ放送のライン出力音量を変更できます。変更した音量は保存されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すと待機状態に戻ります。



総発売元

緊急地震速報のリーディングカンパニー
株式会社 J コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F